アマレン杯握り詰便乗作品展

JIGSAW BOX # 02 (解答編)

使用駒:玉、角、角、金、金、

銀、桂、香、香、歩、

歩の11枚(±1枚可)

解説担当 : 小峰耕希

はじめに

今回解答を寄せて下さったのは以下の方々。 (解答到着順、敬称略)

市村道生 橋本孝治 真T 隅の老人B 伊達悠 もず たくぼん()

締め切り後に解答到着。

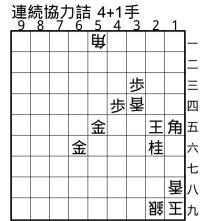
正式な解答者数は前回比同数の6名ですが、 締め切り後にコメントを送って下さった方が1名と、昨年僕が解答者だった分を勘案 すれば、実質的には2名増。お忙しい中本 当に有り難うございます。 では早速解答発表に移りましょう。

解答発表

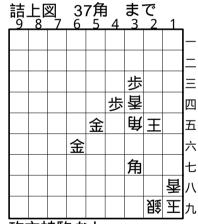
第1番 小峰耕希 (初登場)

95角、59角生、 26角生、 35角、 + 37角 まで 4 + 1 手

もず このルールは好きですが、作品の狙い はよくわかりませんでした。何かの絵柄に なっているのでしょうか。



攻方持駒なし 受方持駒なし



攻方持駒なし 受方持駒桂

そうなら良かったのですが...。

橋本 角ばかりの手順と8段目の桂の禁手を 利用した詰上りが狙いでしょうか。 **たくぼん** 駒を取らないことで手順を限定しているんですね。角の大移動が見事。

という狙いでした。例えば初手から33~44~26~35角とすると、+37角に28歩と合駒出来てしまいます。

真T 角の大回転。

隅の老人B またまた、新ル・ル? いろいろ と考えますね。(新ルールではありません)

市村 先ずは二枚金の活用から考えました。角 の軌跡が美しい傑作です。

伊達 最初、玉を動かす手を考えていました。 何に悩んでいたんだろう・・・・・それに しても、面白い手順です。

一本道と思い込んでましたが (^ ^ ;)

橋本 この駒数だとちょっと難しいかもしれませんが、出題形式を4+4手とかにして、攻方の角の軌跡も楽しめればもっと良かったと思います。

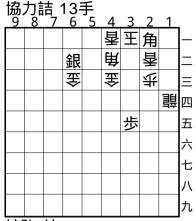
では検討プログラムの開発お願いします m(_ _)m

第2番 小峰耕希 (登場2回)

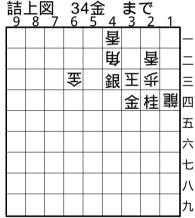
32角成、同玉、24桂、33玉、34歩、44玉、 53銀生、35玉、44銀生、34玉、43銀生、33玉、 34金 まで 13手

収束の3連続銀不成を中心にまとめたつもりだったのですが、

隅の老人B 沖へ逃げる、戻っておいでと、銀



持駒 桂



持駒 なし

扇で招く。熊谷陣屋敷の一幕ですね。 伊達 銀生3連続に枠を少し離れる不利感。なかなか難しいです。(難しいか??) 市村 62銀の攻撃参加が解決の鍵。強力な守備 駒を逆利用。 どちらかというと、3手目の限定桂打ちに コメントが集まりました。

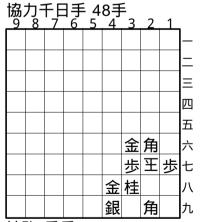
真T 3手目の伏線がいいですね。

たくぼん 普通に手を進めれば詰んでしまう。 2 4 桂で龍の利きを消すのが唯一の見せ場か。

橋本 3手目は右か左か。収束が見えたので、流石に迷いませんでした。もし44桂が作意だったら大妙手。

とにかく低レベルで、ボツにしようかとも 考えたのですが、員数不足は否めず結局出 題する事にしました。

第3番 神無三郎 (初登場)



持駒 香香

18角、同玉、19香、27玉、29香、28飛、

同香、同玉、27飛、19玉、29飛、18玉、19飛、28玉、18飛、39玉、19飛、29飛、同飛、同玉、27飛、28飛、同飛、19玉、39飛、29角、同飛引、18玉、19飛、27玉、29飛左、28香、同飛、同玉、27飛、28香、同飛、19玉、18飛、同玉、27飛、28香、同飛、19玉、18飛、同玉、29角、27玉 まで48手

どう飛を操って角・香を奪還するか、という問題。特に香は9段目に合駒する事が出来ないので、手順に工夫が必要です。

- **市村** 狭いスペースでの合駒の応酬は見応え 十分。森作を偲ばせる好作です。
- たくぼん 合駒を出すことを考えれば難しく はないが、この無駄のない配置+持駒が握り詰 でできるということに驚く。
- **真T** 長いですが、筋道は分かりやすかったです。

最長手数局ですが、かなり易しいと見て3番に置いたら、期待通りの全員正解!

- **もず** 飛を2枚使うとは思わなかったため、手数 短縮に苦しみました。 ぴったりの駒数でよく こんなにきっちりと限定される手順が出せるものですね。
- **伊達** これは・・・・難しい。駒をあちらへ動かしこちらへ動かし。あの人が開発(?) した闇雲流で何とか解けました。
- 隅の老人B 猛暑の夜に汗を流して、追っかけ

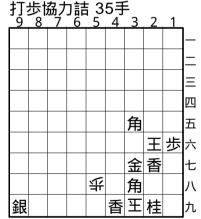
る。使った香が取り戻せない。「もう寝よう」 これが幾晩も続きます。

全員楽勝とは行かなかったようです。僕の 場合は、適当に角・香を補充して行く内に 自然と解けてしまったのですが。

最後は作者・経験者のコメントを。

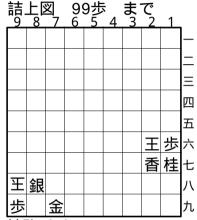
- **作者** 困ったときのばか千日手。偶成ものですがよろしく。必然手の連続で比較的解きやすいか、と思います。
- 橋本 これだけ自然な形で、しかも趣向手順が 入っていることに素直に感心しました。協力 千日手というルールは握り詰に向いている とはいえ、熟練の技を感じさせる作品です。

第4番 神無三郎 (登場2回)



持駒 金

57角、48飛、同角、28玉、18金、同玉、 19飛、28玉、39角、同玉、17桂、28玉、 18飛、同玉、29角、28玉、38金、29玉、 28金、39玉、38金、49玉、48金、59玉、 58金、69玉、59金、79玉、88銀、78玉、 69金、89玉、79金、98玉、99歩 まで 35手



持駒 なし

右下隅の枠内で詰ませられる見込みはなく、 不詰感が漂いますが、入手した飛で巧妙に 囲いを壊して行きます。

- **作者** もう一局投稿しておきます。月並みなほ ぐしものですが。。
- もず 前問のように密室かと思いきや左に追い出す展開でした。99銀は何? というところでわかってしまうのは仕方ないところ。
- たくぼん 囲いを壊して左に追うのは意表を つくが、右だけではにっちもさっちもいかな いので気がつくのに時間はかからなかった。 9九銀が暗示してるからね。

序の折衝は好評、99銀がやや不評でした。

市村 孤独な99銀が来客を待つ。右下隅の軽快な捌きが印象に残る。

真T 99銀の意味は?と思って解図したら、普通に追い出すのですね。

伊達 金を舞台に出すための飛車合にはびっくり仰天。収束は「ここだよ~」と強調していますが。

隅の老人B 打歩詰、どこで取るの、合駒?、 金が動いた時に、山も動いた。

橋本 5手目ついつい角で追ってしまいました。 これは作者の思惑通り? しかし、収束に備 えて待機している99銀が残念な配置。何とか 右辺に戻ってくるような構成にできないで しょうか?

実は僕も当初は5手目で角を引いてました。

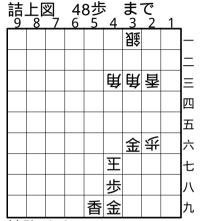
第5番 たくぼん (登場5回)

アンチキルケ打歩協力詩 25手

9	8	7	6	<u>5</u>	4	<u>3</u>	<u> </u>	<u> 1</u>	
								ح	-
					金	鴔	王		<u> </u>
					萬	鼠	星		Ī≡
									四
							桂		五
							<u>桂</u>		五 六 七
									七
									八
									九

持駒 金

21と、同銀/31銀、13桂成、同香/11香、 32金、12玉、22金、13玉、12金、24玉、 15金、35玉、25金、36玉、35金、37玉、 36金、48玉、11金/49金、57玉、59香、58歩、 同金/49金、47玉、48歩 まで 25手



持駒 なし

作者 ありきたりの作意(中略)。手が狭いので考えやすいと思います。

伊達 易しいながらも、創作側から見ると創る のも難しいんだろうなあ・・・・・・ というのは詰備会員だけでした(笑)

もず・小峰 (無解)

橋本 これはやられました。26歩を取るのではなく合駒で歩を稼ぐとは! 26歩を取る紛れは際どいし、作意には居食いまで登場するし、本作品展最大の収穫ではないでしょうか。

隅の老人B 歩を取るのかな? で、金で追っ

かける。11金/49金は解き手には難解でも、創る方は簡単? 合駒で歩を入手吃驚。詰む場所も意外や意外で、難しい。

解答者からすると、歩を入手するために追いかけて行った先に置いてある歩なので、 ついつい拾いたくなってしまいます。

実は金の軌道限定のための配置だったのですが、これが思いがけず主役に躍り出る形になりました。

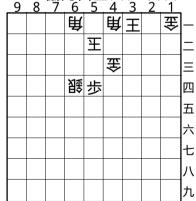
市村 角を取る順は、2手超で不発。26歩が絶 妙な偽質駒なので、最後の最後まで(58歩合 に気付くまで)この罠に嵌りました。

真T と金で26の歩を払うと思って苦戦。もっと遠くまで行くとは...。

第3番とは別な意味で絶賛続々。結果的には純握り詰の2題が好評を博しました。

第6番 神無太郎 (登場2回)

PWC協力自玉ステイルメイト 12手 9.8.7.6.5.4.3.2.1



持駒 桂香香歩

53步生、51玉、52步生、同玉、56香、55金、 54香、同金引/55香、53歩、同金引/54歩 44桂、同金右/53桂 まで 12手

STM達成図 44同金右/53桂 まで

_9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			串		曲	Ŧ		金	_
				王					<u> </u>
				桂	싊				≡
			鴔	步	金金				一三四五六七
				香					五
				香					六
									七
									八
									九
140	- /								-

持駒 なし

作者 ストックから 1 局ひねり出しました。 真T 積み重なっていくのが面白いですね。 隅の老人B 初手から最後まで妙手の連続。よ くぞ創ったり。作者は天才OR暇人?、苦労し たので、嫌みな質問。

攻方の駒が王桂香歩なので、1・2段目を 利用して駒をどんどん消して行けば良さそ うなものですが、本局でそれを目指しても 僅かに届きません。この際どい紛れに引っ 掛かり、市村さん、たくぼんさん、小峰の 3名が誤無解となりました。

もず 52に捨てていく手順を考えてしまいまし た。41角が動くと32に利きがなくなってしま

うのが困りもの。香香歩を並べるこの筋は面 白いのですが、もう少しすっきりとした配置 で作れないかと感じました。

「もう少しすっきり」は正論ではあるので すが、実はそれを封印するのが握り詰創作 の重要なテクニックの1つだったりします。 例えば本局、11金を外して2筋右に寄せれ ば成立していそうです(完全性未確認)で もそうやって行くと、駒が余って頭を抱え る羽目に陥ります。

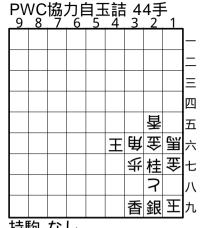
伊達 PWCだから当たり前とはいえ、最初の 3手が変な感じ。56香とかも最初は59に 打ってしまう。PWCだからこその摩訶不思 議な手順が続き、詰上がりもまた不思議な感

橋本 最初の4手の序が巧いアレンジですが、同 じ素材で握り詰という枠を外した作品を見 せてもらったことがあるので、そちらが本命 ですね。

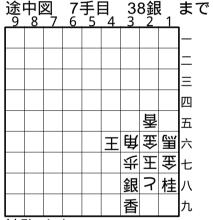
やむを得ない点ではありますが、序の4手 がテーマから外れたのは残念に思いました。

第7番 神無七郎 (登場2回)

28銀/29と、18玉、19銀、27玉/18桂、 28銀、同と/29銀、38銀、(途中図) 同歩生/37銀、28銀/37と、18玉/27桂、 19銀、29玉、18銀、28玉、29銀、27玉/28桂、 38銀、28玉/27桂、37銀/38と、(途中図) 19玉、28銀、18玉、19歩、28玉/18銀、

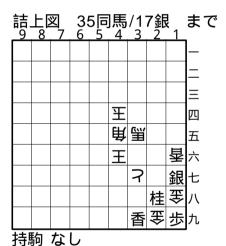


持駒 なし



持駒 なし

17銀/18金、同金上/26銀、37銀、同と/38銀、 29銀、27玉/28桂、18銀/29金、26玉、 17銀/18金、15玉、16銀/17馬、24玉、 25銀/16香、33玉、34銀、44玉、 45銀、同角/36銀、35銀、同馬/17銀 まで 44手



作者 回転型の入替え趣向は、握り詰では厳しいですね。仕方なく自殺系にして駒不足を補う苦肉の策を採りました。

今回の最難解作登場。攻方王の可動範囲がかなり広く、どうすれば詰むのか見当が付

きません。

もず (無解)

伊達 ごめんなさい。できませんでした~OT L

真T 最終形が全く分かりません。

僕もさっぱりでした。もっと今川闇雲流や 須川根性流を見習わないといけないようで す。

結論としては受方玉を室外に追い出さなければいけません。26が空けば何とかなるのですが、それを邪魔するのが2枚金です。そこで登場するのが「回転趣向」。攻方銀を18 17 26 37 38 29 18と回し、受方の守備駒の位置をずらして行きます。

しかしそこまでわかっても、尚本局を解く のは容易ではありません。特に導入部との 関係から、作意と逆方向に回転させる紛れ が厄介なのです。

市村 素晴らしい入れ替えパズルですが、6手 の短縮が解らず、これ以上の思考は断念します。

20手目37同金/26銀以下の50手解。途中 29 桂 25玉・17香の形から17桂と跳ねて香を入手し、最後は54玉、57香、55銀までの鮮やかな手順だったのですが、残念。

20手目は37同金がごく自然に見えるので、19 玉はかなりの難手。この辺りの手順にも、 七郎さんの言葉にある「苦肉の策」があら われているのかも知れません。 そして、本局を解いて来たのは、やはりこ のご両人でした。

隅の老人B 最終図が予想できない、闇雲流が 1週間。忍耐、根気、根性、加えて暇の4拍 子、解けた時の嬉しかったこと。

たくぼん 8手目歩成とやる紛れにはまりました。歩を取るとは全くの盲点。収束は駒を動かしているうちに何となく予想できたのですが、そこに至るまでの手順に難渋しました。

8手目歩成の紛れは、端から回転させる事ばかり考えていると(成駒が多い方が回転させるのに都合が良い)陥り易いと思います。実際僕もはまりました。

北村太路さんの大作群が存在する今日にあっては、「回転型」作品としての価値は低いでしょうが、握り詰でのチャレンジとしては悪くないのではと思います。

作者予想答え合わせ

橋本 1・2 = 小峰耕希氏、3・4 = 神無三郎 氏、5 = たくぼん氏、6 = 神無太郎氏、7 = 自作

たくぼん 1・2 - 小峰耕希 (コミック作は1番か6番でしょうが、出題数が少ない時の為に担当者が2題準備していると読んで1番

かな) 3・4 - 神無三郎 (4番は作風ではでない気はするが) 5 - たくぼん (これは分かる) 6 - 神無太郎 (狙いがハッキリしているので) 7 - 神無七郎 (トリはこの人しかいないでしょう)

このご両人が全題的中。やはり自作が含まれていると有利なのでしょうか。

真T (不参加)

伊達 ちょっと長めにいきます。

まず、第3番と第4番。大駒合の出てくるようなトリッキーな手順でこんなルールであれば神無七郎さん・・・と思いきや、7番も考えられるのか・・・だったら神無太郎さんも候補にあがるなあ・・・でも待てよ、ここは「妖精都市」。ということは神無太郎さんはこれに関してのストックを以前から創っているのではないか。よし決まった!

第3番・第4番 神無太郎さん、第7番 神無七郎さん

同じように考えると、今回JIGSAW B O X 担当の小峰さんも複数の作品を作っているということは自然なこと。さらに言うと、出題の言葉で「作品の質もかなり向上したと思います(中にはコミック作も紛れ込んでいますが)」とある。今回の「コミック作」というのは多分1番。そして小峰さんが他人の作品を「コミック作」と呼ぶはずがない。ということでこれも決定!

第1番・第2番 小峰耕希さん

さて、残ったのは第5番と第6番。第6番のルールはPWC協力自玉ステイルメイト。おっ?「ステイルメイト」?たくぼんさんがこんなルールで創ったのを見たことがある? どちらかというと神無三郎さん好み。さらに第5番のアンチキルケ打歩ルール。たくぼんさんの作品でこのルールは初めてではない。ということで、残ったこの2つも決定!第5番 神無三郎さん、第6番 たくぼんさん

こんなに長い推理ショー (推理になっているのか?)を展開して全部間違ってたらみっともないなぁ・・・

部分的には鋭い推理でした。次の機会にも 挫けず官しく。

市村 1・2 = 小峰耕希氏、3・4 = たくぼん 氏、5 = 神無七郎氏、6 = 神無太郎氏、7 = 神無三郎氏

1・2番バッターは、正直なところ、全く予想不能です。しかし、担当者自らがトップバッターとして口火を切るのが、企画を盛り上げる演出ではないかと推定した次第です。

先頭打者予想は当りですが、「盛り上げ役」 というよりは「引き立て役」でしょうか。 完全的中に後一歩だったのが次のお二方。

もず 1,2: たくぼん、3,4: 神無三郎、5: 小 峰耕希、6: 神無太郎、7: 神無七郎

隅の老人B 1・2 = 小峰さん、3・4 = 太郎 さん、5 = たくぼんさん、6 = 三郎さん、 7 = 七郎さん

ヤングは賽子で決めるが、これは考えましたよ。全部当たったら、賞品をお願い。

惜しい! でも来年Bさんが的中したら賞 品どうしましょう。どれか1局ゲスト解説 お願いするとか(^^;)

総評

たくぼん う~む。すっかり忘れていました。 ボケが進行したか?? 締切後ですが送りま す。おろしくおねがいします。(中略)難し い指定駒でよくもこれだけの作品が生み出 せるものと感心しました。

幻の作者当て完全的中になってしまいました。でも最近僕にも解答出し忘れが数件。 う~む。

隅の老人B 暑いですね。ようやく解けて、解答も書けました。この暑いのに、よく頑張ったと自分を褒めていますよ。おかげで、パラは殆ど手つかず。(中略)これが握り詰?難しすぎるよ。4番まで早かったが、それからが苦戦。朝な夕なに、ひたすら駒を動かす。猛暑の時に、こんな難問は嫌ですね。8月12日、早朝より解答書き。蝉時雨、暑いね。「猛暑お見舞い申し上げます」、かな。

市村 "JIGSAW BOX"をご送付戴き、有難うござい

ます。豪華な出題陣に加え、高品質の作品が 揃っており、立派な作品展です。ご好意への お返しとして、解答を送付致します。(中略) PWCの2題ですが、手数の短縮が出来ず、 残念ながら白旗です。(中略)このルールに は、初めての挑戦ですが、PWC独自の妙手 が秘められているのではと、今後の習熟に望 みを継ぎたい思いです。

橋本 作品数は多くありませんでしたが、結構 楽しめました。第5番が一番印象に残りまし たが、完成度の高い第3番も良かったです。 自作(第7番)はまるっきりダメですが...。

真T 握り詰めとは思えない好作群でした。 という意見が多くて嬉しいですが、自作に 関しては全く以って駄作なので、来年はも うちょっとましなのを作りたいです。

伊達 ぎりぎりになりました。すみません・・・・・それでは解答を。

もず 締め切り前日になって作品を見る時間 がとれました。解けた分だけお送りします。 (中略)プラス1枚が可能になった余裕を、双 玉化に使うのがやはり作りやすいようです ね。ただ、それでも私にはどうやって駒種を 合わせていくのか創作法の勘所がわかりません。

僕もよくわかりませんが、作るだけなら何とかなりました。それより浪費出来る暇があるかどうかが問題な気がします。

解答成績

<正解数>

【7題全題正解】 橋本孝治 隅の老人B 【6題】 真T 伊達悠 たくぼん(参考記録)

【5 題】 市村道生 もず

【4題】 小峰耕希(参考記録)

<作者予想>

【7題完全的中】 橋本孝治 たくぼん(参考記録)

【4題】 隅の老人B もず 【3題】 市村道生 伊達悠

<通算正解数>

【13題全題正解】 橋本孝治 隅の老人B

【10題】 もず

【6題】 真T 伊達悠 たくぼん 若林

【5題】 市村道生

【4題】 小峰耕希

編集後記

今年僕が一番注目したのは、指定駒に飛が 含まれていない所でした。その制約の中で 皆さんがどんな作品を創作するのか興味が あったのです。

結果は、飛を使わずに作った人、合駒で発生させた人、反則気味に+1枚枠で使ってしまった某若手等、それぞれに工夫・苦心の跡があって、楽しませて頂きました。

昨年太郎さんから次代担当を打診された際、「暇だったらやる」と答えたのですが、何 しろ好きな事ですので、予想通り忙しくて も引き受けてしまいました。

という訳で、余程の重病か大怪我をしない 限り、次も担当を引き受けると思われます。 また来年お会いしましょう!

2007年8月28日 小峰耕希